



津幡町立太白台小学校

のびる太白台

学校だより
7 月 号
R 8 年 7 月 1 日

校訓：進取 誠実 敬愛 ～よりよく学び 心豊かに たくましく～



校長 吉本 千鶴

美しい歌声、「おはよう」「ありがとう」シグナスに響く

6月17日、津幡町文化会館「シグナス」で小学校音楽会が行われました。本校は、5、6年生が参加しました。「天使の声を響かせよう」「口は卵型に大きく開けよう」と毎時間、尾山先生の指導のもと、実行委員が中心となり、合唱やピアノ伴奏の練習を積み重ねてきました。子供たちは「育ててくれた家族やお世話になった先生、地域の方々にこの歌声を届けたい」と、思いを胸に取り組んでいました。本番では、大ホールに美しい二部合唱が響きわたり、感動を届けることができました。子供たちは、この行事を通して、「目標に向かってやりきること」や「心を一つにすることの大切さ」など、多くのことを学んだことと思います。これからの生活に生かしてほしいと願っています。

地域が、親が、学校が、みんなで育む 生きる力（写真は HP にて）

春の資源回収

5月24日（日）、資源回収が行われました。収益は133,396円でした。PTA環境部、地域の皆様のご協力に感謝いたします。児童の教育活動やPTA活動に活用させていただきます。

弁護士によるいじめ防止講座

6月12日（金）、「弁護士によるいじめ防止講座」を行いました。弁護士さんは実例をあげながら「本人（被害者）が嫌だと感じていれば、すべていじめになる。周りや加害者に悪気があるかは関係ない」と話されました。6年生は、弁護士さんから具体的な犯罪名も聞き、「いじめは犯罪である」との認識を新たにしました。

登校坂・階段・太白の森の草刈り

6月13日（土）、老人会の方々が登校坂の草刈りをしてくださいました。また、21日（日）には、PTA環境部、おやじの会の方々に、太白の森や登校坂・階段付近の草刈りをいただきました。「太白の森」は、現在活用しておりませんが、草刈りすることでクマの抑止につながるため、原野化させない方がよいとのこと。おかげさまで、学校周辺の見通しがよくなり、すっきりしました！

熊出没による安全対策

5月31日（日）のクマ出没により、6月1日～3日の3日間、保護者への引き渡し及び集団下校を行いました。保護者の皆様、地域の見守り隊、区の皆様のご協力のおかげで、安全な登下校ができました。

図書館飾りつけ 読み聞かせ

毎週木曜日、図書ボランティアの方々が各クラスで読み聞かせをしてくださっています。子供たちは、一瞬にしてお話の世界に入っていきます。また、「太白台図書館」は、毎月、季節に合った素敵な飾りつけがされており、子供たちの大好きな場所でもあります。癒されます。

不審者対応訓練

6月19日（金）、5年教室に不審者が入った想定で不審者対応訓練を行い、避難の仕方を学びました。津幡警察署の方々から「いかのおすし」の合言葉や「人気のない所は一人で通らないこと」、「お家の人に【行き先と帰る時間】を必ず伝える」など、大事なことを教わりました。

模擬投票

6月19日（金）、津幡町選挙管理委員会の方々が来校されました。6年生は選挙に関するクイズを解きながら学習しました。実際の投票箱等を使用し模擬投票を体験しました。子供たちの将来につながるよい機会となりました。

ありがとうございました

第1回 学校評議員会報告

6月5日（金）に、今年度の第1回学校評議員会を実施しました。今年度の評議員さんは、西中 謙二 様（地域代表）・西尾 正則 様（学識経験者）・曾我 稔 様（PTA代表）です。5限目の授業の様子等を参観していただいた後、校長室で学校運営や方針等について質疑応答が行われました。今後、9月に前期学校評価の結果からご意見をいただき、2月に第2回学校評議員会の開催を予定しています。

○クマ対応について、急な児童引き渡しはどれくらいの保護者が迎えに来れたのか。

➡（学校）

- ・6月1日（月）の10時前までは集団下校を考えていたが、校舎から裏山にクマらしきものが見えるとの児童の訴えがあったため、急遽完全引き渡しを実施した。結果、全ての保護者が迎えに来てくれた。

➡（評議員の意見）【町への要望】

- ・今後、クマが出た場合は、町バスを出してもらう方法も町に要望するとよいのではないかと、区長の会議等は町のバスが出ている。学校での緊急の下校等も町のバスが巡回して児童を下校させるなど、できることがあるのではないかと、また「のるーと」なども積極的に支援してもらえるとよい。
- ・急な集団下校時の対応として、防災の観点からも「のるーと」のスポットを太白台に設置してほしい。緑が丘やエクセルなどの学校からかなり遠い児童が集団下校等で利用できるとよい。

○校長の提唱する「ウェルビーイング」とは、どのような考え方なのか詳しく教えてほしい。



➡（学校）

- ・精神的にも身体的にも満たされた状態をさす。教員も児童も心身ともに満たされた状態を目指したい。すべての児童にとって学校が安心できる場所、心の拠り所である場所となつてほしいと願っている。

➡（評議員の意見）

- ・心身ともに健康であることはとても大事で、校長先生の考えは共感できる。学力向上について、点数が低い、高いはその年の児童によるところが大きく、一概に良いから何だとは言えない。年度によって結果に差が出るのは当たり前。それよりも、個々の児童の成長、伸びが一番大切。先生方も学力については、全体を見るよりも、子ども一人一人の育ち、伸びをしっかりと捉えて認めてほしい。

貴重なご意見ありがとうございました。今後の教育活動にいかしてまいります。

7月には、保護者の皆様に学校の教育活動等についてのアンケートをお願いいたします。学校の取組について忌憚のないご意見をいただければと思います。よろしくお願いいたします。